

集落魅力発信プロジェクト

むらの風景

～小代 Edition～

香美町集落ガイドブック vol.4



香美町集落ガイドブック vol.4

- 【発行日】 2022 (令和4) 年3月15日 初版
【発行】 兵庫県立村岡高等学校
〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡 2931
☎0796-94-0201
- 【監修】 鳥取大学地域学部
【協力】 小代区のみなさん
香美町地域おこし協力隊 高橋大蔵
- 【印刷】 スタジオK1
【スタッフ】 兵庫県立村岡高等学校
村高発地域元気化プロジェクト集落調査班
藤本聖也 坂本実優 田中暖花 中村優月
地域アウトドアスポーツ類型地域創造系1～3年生

ISBN 978-4-9907829-9-3

発行 兵庫県立村岡高等学校
監修 鳥取大学地域学部

ガイドブックを手にしたあなたへ

①めざせコミュニティマスター
～まちから都市への地域活性化反応～

②街にないものあります
～田園回帰～

高校生の目線で独自に歩いて集めた情報をもとに、集落の隠れた魅力を発見し、高校生の視点で作成したガイドブックvol.4です。

このガイドブックをみなさんが手に取り、訪れていただくことを楽しみにしております！さらに、ガイドブックが小代区に新たな人の流れを生み出し、活気あふれる地域づくりの一助になることを願っています。

もくじ

ガイドブックを手にしたあなたへ	2
集落魅力紹介	3
43 水間	3
44 大谷	5
45 茅野	7
1 實山	9
3 新屋	11
18 久須部	13
29 神場	15
30 平野	17
46 石寺	19
47 神水	21
48 猪之谷	23
5 佐坊	25
7 貫田	27
19 忠宮	29
49 城山	31
50 秋岡	33
23 広井	35
25 野間谷	37
51 東垣	39
26 鍛冶屋	41
27 熱田	43
おじろマップ	45
おわりに	46

このガイドブックは、香美町内の集落ごとの魅力・特色がたくさん詰まっています。香美町のことを全く知らない方はもちろんのこと、香美町に縁のある方、香美町民の皆様にも読んでもらいたい内容となっています。地域の魅力を再発見し、香美町に対する理解を深めてみてください。このガイドブックを手にしたあなたはすでに香美町の「宣伝人」です。ガイドブックからあなたへ、あなたから友人へ。コミュニケーションの輪を広げましょう。人と人のつながりを大切にするまち、人の温かさが感じられるまち「香美町」へぜひお越しください。

兵庫県の北にある香美町は、人口の少ない小規模な町です。店も少なく、決して便利な町とは言えません。しかし、だからこそ香美町では人と人のつながりが強く、住民同士がお互いに助け合いながら生活しています。自然と共に、昔ながらの暮らしをしている人がたくさんいます。このガイドブックには、そんな香美町にある集落の魅力を存分に詰め込みました。人のぬくもり溢れる地域で伸び伸びと生活したい方、緑に囲まれた田舎で四季を感じながらのんびりと暮らしてみたい方、是非このガイドブックを読んで香美町の隠れた魅力を知ってください。

③地域で育てる未来世代
～香美町で日本一の子育てを～

④イイ感じを合言葉に
～Youは香美町で何をします？～

ガイドブックを手にとったあなたへ、このガイドブック「むらの風景」を開くと高校生から見た香美町の集落のそれぞれのすてきな風景、暮らしを覗くことができます。どこか懐かしい田舎のおばあちゃんちのような集落の雰囲気、山菜取りや野菜作りなど親子で楽しめる自然体験ができる緑豊かな集落の様子をご覧ください。幼少時代の自然体験は一生の宝物。香美町はじめての方も香美町民の方も親子で、友人とちょっと足を運んでみませんか。緑に囲まれた集落と温かい集落のひとつがあなたを待っています。

このガイドブックを手にとってくれたあなたは少しでも香美町に興味を持ってくださった方だと思います。香美町は120の集落に分かれています。それぞれに歴史があり、魅力が存在しています。このガイドブックを持って香美町を訪れてみてください。たくさんの「イイ感じ」を体験出来ると思います。また皆さんでもガイドブックには書いてない「イイ感じ」を見つけみてくださいね。たくさんの「イイ感じ」が発見できる香美町でお待ちしております。

みずま

水間

～水間自慢を聞いてくれ!!～

香美町小代区水間

水間には何のために造られたのか、いつ頃造られたものかも分からない石燈籠がある。この石燈籠は水間の若者達が造ったと言われていて、お盆になると火を灯すそうだ。12月頃になると毎年美しいイルミネーションが飾られている。皆さんぜひ一度、足を運んでみてはいかが？

人口 96人
世帯数 36世帯
高齢化率 37.5%
歴史 小字アガノ坂に無格社
荒神社、小字岡田に
観音堂がある。

集落データ (R2.10.1 現在)



区長の一言

水間地区の一番は、何といても手作り味噌を製造販売していることです。町の給食等にも使用されています。また有馬温泉御所坊でも使用されています。他にはパーライトの碎石が豊富に山にあることです。建物の外壁材として広く使用されている状況です。



めざせコミュニティマスター

健康の秘訣 みずうま味噌

小代の小さな地区で12年前から、村おこしをきっかけにはじまった味噌作り!! こだわりはなんといっても「昔ながらの手作り」

～作業工程～

こうじ作り ➡ 大量の豆を煮る

➡ 豆をつぶし、塩をくわえ、粘り気のある固さになるまで混ぜる (ここで、先ほどの煮汁を使う。これがこだわり!!)

➡ おけにつめて完成!!

味噌の生産量は年間1.5t、有馬温泉や地元の給食に使われている



めざせコミュニティマスター

地域とつながる飲食店!!

大谷の飲食店では、生きたすっぽんをそのまま使った料理など、食材の魅力を活かした料理を提供している。それに加え、田舎特有の美しい空気、人の温かさの中で料理を楽しむことができる。豊かな自然と隠し味「大谷のぬくもり」がプラスされた一皿を、ぜひ食べてみてはいかがだろう。

お お た に

大谷

～自然と食で
つながる町～

香美町小代区大谷

大谷地区には商店街、郵便局に役場と多くの施設がそろっている。とても賑やかで便利な点から、「小代の都会」とも呼ばれている。また、大谷の豊かな自然は人々の心を癒し、ゆったりとした時間の中でのどかなひとときを過ごすことができる。さらにはスキー場、おじろんなどの有名スポットで多くの観光客の目を引き付け、宿泊施設や飲食店で旅の最後まで彼らを楽しませてくれる。



左から、
大平山荘の邊見さん
松田屋の松田さん



人口	304人
世帯数	117世帯
高齢化率	39.4%
歴史	優秀な種牡牛周助蔓を育てた前田周助の顕彰碑と、名牛田尻号の顕彰碑がたつ。
集落データ	(R2.10.1)

区長の一言

大谷集落ではスッポン料理が食べられる大平山荘さんや、手打ちそばの食べられる藤村さんといったグルメスポットが多くあります。また中世では城下町として栄えたこともあり、歴史的な街並みが今も残っています。皆さんぜひ遊びに来てくださいね。

茅野

～歴史を感じられる地区～

香美町小代区茅野



茅野では、毎年「茅野くぐり」「はやし込み太鼓」といった地域内行事を行っている。歴史的財産としては「^{まつのじょうあと}松城跡」がある。この松城跡がある山頂からは茅野の地域を見渡することができる。この他に茅野には「久保井義右衛門」さんという偉人がおり、その方の石碑が存在している。



村の偉人久保井義右衛門の石碑

人口	75人
世帯数	36世帯
高齢化率	57.3%
主な行事	茅野くぐり、はやし込み太鼓
歴史	小代田公氏の一族朝倉織部正が居住したといわれる松城跡がある。

集落データ (R2.10.1)



めざせコミュニティマスター 松城への道のり

松城は、茅野の山の頂にあり、非常に急な山道の先にある。地域では老若男女問わず登ったことがある道だと聞いて、私たちも挑戦してみたが容易に登ることが出来ず、途中で下山した。足を運ぶ際は、整った装備で登山することをオススメする。

区長の一言

茅野地区は国道482号から少し上った高い所にあり、屋間でも静かで見晴らしが良く、特に紅葉の季節の景色は最高です。空き屋を活用したりリモートワーク等はいかがでしょうか。

元日本弁護士連盟会長の弁護士、久保井一匡先生が生まれ育った村で、実は先日先生の生家も空き家バンクに登録されました。

さね やま

實山

～お祭りの日は
みんなで登山!?!～

香美町小代区實山



内蔵洞

まがりくねった道を登ると壮大な山々を背負った實山集落がある。實山には、たくさんの歴史的なものと人々の温かさがある。その中でも、山の中には平家の落ち武者が身をひそめた『内蔵洞』という洞窟がある。住民の皆さんはとても仲が良く、一緒にいると心が和む。また、4月下旬に行われる『観音祭り登山』は、歴史と住民の温かさのコラボレーションを体験できる。そこでは、村はずれにある観音堂へ登山をし、アドベンチャー的にお参りができる。村の歴史を体感し、その上、絆を深められるこの登山が体験できるのは日本でこの「實山」だけかもしれない。



人口	43人
世帯数	27世帯
高齢化率	65.1%
主な行事	観音祭り登山 百万遍 お日まち
歴史	宮ノ前神社 内蔵洞

集落データ (R2.10.1)



百万遍



登山の様子



アクセス風景

坂道を上ると緑のマントをまとった集落がひっそりたたずんでいる

めざせコミュニティマスター

贅沢なコラボレーション登山

香美町を離れたあなた！

實山で行われる観音祭り登山はただの登山ではない！登山×歴史・登山×祭りの楽しめる贅沢な登山なのだ。祭りとのコラボレーションは年に1度しか体験できない非常にレアな体験。あなたの身近に歴史好きな人、祭り好きな人はいないだろうか。みんな誘って参加してみよう！そこには、普通の登山では味わえない面白さがある。仲間と一緒に参加することでさらに絆が深まることは間違いなく、新たな世代間交流の場として實山集落の発展へもつながるはずだ。このような素敵な物語をあなたが実現してみよう。

区長の一言

観音祭り登山では縁日の前日、日が暮れるまでに住民で誘い合って登ります。囲炉裏を囲んで観音様を拝み、食事をしたり、話したりして夜を明かします。昔からの行事を絶やさないよう頑張っています。また、實山には歴史博士とよばれる井上孝さん(91)がいらっしゃいます。村のことなら何でも知っている生き字引です。

にい や 新屋

～香美町の築地～

香美町小代区新屋

新屋地区には月に一度開催される朝市があり、集落の方が持ち寄った野菜や加工品をお手頃価格で販売している。当日はいつも繁盛し、早朝にもかかわらず集落の垣根を越えてたくさんの方が訪れる。どの商品もすぐに売り切れてしまう人気ぶりだ。朝市は集落の方の楽しみでもある。お菓子を販売していたおばあちゃんは、「これ昨日の夜から作ったの!」と笑顔で話をしてくれた。

さらに、新屋にはミカタスノーパーク、とちのき村などのレジャー施設が充実しており、自然豊かな場所でアウトドアスポーツを体験することができる。ぜひ一度、新屋を訪れてみてはどうだろうか。



人口	123人
世帯数	52世帯
高齢化率	56.9%
主な行事	しゃくなげ公園祭り 芸能発表会
歴史	熱田神社 村芝居

集落データ (R2.10.1)

めざせコミュニティマスター

人と人とのつながりを大事に!

香美町を離れたあなた! あなたの周りに他の世代の方との交流に興味を持っている人はいないだろうか? そう思っている人がいたらぜひ新屋の朝市やコミュニティのことを教えてあげよう! 新屋地区では組織活動がとても活発で、老人会、婦人会などはもちろんのこと、お団子おしゃべり同好会など他の地区では見られないようなグループもあり、住民の方々の大切なコミュニティの場になっている。また、新屋の方々は私たち高校生を温かく出迎えてくれた。そんな新屋の人たちなら、きっと観光客に対しても温かく接してくれるだろう。

区長の一言

新屋地区は盆踊りや秋祭りなどの伝統行事、運動会などのイベント、集落営農や朝市などの活動を通じて地区住民の絆を大切にしてきました。少子高齢化で住民の数は減少していきませんが、これからも地区内外の人々との交流を行い人と人の絆を大切に健康で笑顔で暮らせる地域づくりをしていきます。



手作りのお餅



アクセス風景

国道 482 号線をくだり、
県道 87 号線に入れば、
新屋へのあじさいロード
が出迎えてくれます!

くすべ 久須部

～自然界のミステリー～

香美町小代区久須部



自然と歴史を間近に感じることができる久須部。この集落の一番奥まで行くと歴史を感じる鉱山の跡地がある。戦前までは金が多く取れていたが、戦争が始まると金が不要だという理由から閉鎖されてしまった。その奥には「三段滝」や「要滝」といった二つの大きな滝がある。周りは緑に囲まれており、静かな空間の中に流れる滝の音が心地よく体をリフレッシュさせてくれるだろう。

人口 18人
世帯数 10世帯
高齢化率 77.7%
主な行事 山の神様の祭り
(10/9)
歴史 金銀鉱山
集落データ (R2.10.1)



めざせコミュニティマスター 久須部を舞台に ミステリーツアー!?

滝や鉱山など、自然を間近に感じることができる場所がある。その中には滝の近くに電話ボックスがあったり、昔、砂鉄によってキラキラ光っていた川があったりと、多くの不思議が存在する。それらは写真スポットとしても絶好の場所であるため、写真好き、ミステリー好きとともに久須部でミステリーツアーを開催すればそこで新たなコミュニティが生まれるだろう。

区長の一言

久須部地区は自然にあふれた集落です。区内には三段滝や要滝といった大きな滝があり、多くの観光客が訪れます。また久須部渓谷にある滝見亭は気軽に山菜料理が食べられるお店として人気のスポットです。





牛の石像



八幡神社の鳥居



神場大池

か ん ば

神場

～小代の
奥深くに眠る村～

香美町小代区神場

村岡区萩山と接する集落、神場地区。この集落は標高が高くおじろスキー場のゲレンデを見ることができるほどの高さだ。標高が高いことから雪解け水を利用した田植えを行っており、田植えを行うのが小代区内で一番早い。また、神場大池には鴨打を求めて訪れてくる人もいる。神場地区は住民同士で手伝い、助け合いながら穏やかに過ごせる集落だ。

区長の一言

神場地区は一二峠がある村岡区萩山に隣接しており、古くは山名豊国の領地として栄えていました。現在は集落の住人は減っているものの、雪かきなど住民同士が助け合って暮らしています。豊かな自然に囲まれた神場集落にぜひ皆さん遊びに来てみてください。

めざせコミュニティマスター

人が少ないからこそできる暮らし

神場地区では、人数が少ないながらも地蔵の手入れや、冬には雪かきをしてくれる人がいたり、地滑り対策を住民自らがやっているなど神場地区を維持しようと住民が一体となって頑張っている。その背景には、一度集落を離れた人が再び神場に戻ってこられるようにという住民の思いがある。ぜひ、人生にゆとりができた時、気楽にのんびり過ごせる神場地区を訪れてみてはどうだろうか。住民が温かく迎え入れてくれるだろう。



人口 29人
世帯数 18世帯
高齢化率 68.9%
主な行事 地蔵盆

集落データ (R2.10.1)

ひらの 平野

～特別なひとときをこの町で～

香美町小代区平野

平野地区には、4月に「いなり祭り」、10月に「秋祭り」、1月には「お日待」という伝統的な祭りがある。

住民の集まる機会が多く、強い結束力で集落全体が繋がっている。美しい観光スポットもたくさんある。

区長の一言

光明寺や平野城址といった歴史ある建物が多くある平野集落。この集落では、昔からの行事や建物を大切にしています。また山間部ということもあり、山々が織りなす四季の変化やきれいな水等の山の恵みを感じられる場所でもあります。自然に囲まれながら昔の人の営みを是非感じに遊びに来てください。

人口 45人
世帯数 17世帯
高齢化率 51.1%
主な行事 芋煮会、お大師さん
歴史 平野城址

集落データ (R2.10.1)



でんでん
田田びより

街にないものあります

ハブ川にかかっている千茶野橋からはきれいな景色が望める。平野地区のシンボルである光明寺は平野住民にとっての誇りであり、大切な場所。田園に併設している添水唐臼小屋にはししおどしがあり、目と耳で癒される空間が広がっている。

～こんな人おいで!～

お寺や自然に触れながら、民宿で地元の食材を使った料理が食べたい方! 自然を体で感じたい方! 自然を満喫した後は、地元食材の料理を食べて、ゆったりと充実した1日を過ごしてみないか。

い し で ら

石寺

～長寿の秘訣は
この村にある！～

香美町小代区石寺

石寺は元気な高齢者が多くおられることが魅力。85歳の方がお米作りをしていたり、90歳以上の方が元気に暮らしている。ご近所との交流もして石寺全体がとても仲が良い。人口は少なくなっているが皆が助け合っ



まんてん
田田びより

街にないものあります

石寺には歴史に関するものがたくさんある。例えば道は塞がれ、とてもミステリアスな雰囲気をした古墳「はじき口古墳」。この場所は香美町指定文化財にも認定され、貴重な古墳となっている。観音堂や石寺堂など珍しいものもあり、歴史マニアにはたまらない場所だ。

～こんな人おいで！～

月1回、保健所や駐在所の人が来訪し、講話や体操、血圧の測定を行うなど、健康面にも配慮されている。その後、お弁当を食べたり、レクリエーションを行ったりしてコミュニケーションをとりあっている。老後、自然豊かなところでのんびり暮らしたい人、地域の温かさや人とのつながりを感じたい人にオススメ!

人口 77人
世帯数 38世帯
高齢化率 59.7%
主な行事 月1回の講話や体操
歴史 小字堂坂に氏神荒魂神社、小字石堂坂に観音堂がある。

集落データ (R2.10.1)



はじき口古墳



荒霊神社

区長の一言

石寺の地名は、応永年間に黒川大名寺の徒弟がこの地に来て都中を托鉢し、資金を集め大きな平石で石垣を囲んで寺院を築造していたところ、人々が石のお寺と言ったのが起源と言われています。石寺の寺社は荒霊神社と呼ばれ、観音堂と地蔵堂があります。

人口 149人
 世帯数 58世帯
 高齢化率 42.9%
 主な行事 えびす祭り、はやし込み
 歴史 小字オトウシには、観音堂と、江戸時代の大照山論の功労者毛戸仁右衛門の顕彰碑がある。

集落データ (R2.10.1)



まんてん
田田びより

街にないものあります

この神水地区には、神社が多く、歴史深い村である。毎年1月9日には観音堂で「えびす祭り」が行われている。また、「美方大納言小豆」が採れることで有名な村でもある。

～こんな人おいで！～

この村では、日当たりがいいので農業をする方にはうってつけ。今からでも、ゆったりとした田舎暮らし・農業をしたいと思っている方。ぜひ、神水で暮らしてみないか。

美方大納言



か ん ず い

神水

～集まれ、日なた好き！
 光合成したいか!?～

香美町小代区神水

小代の入り口にある集落、神水。

日当たり・住みやすさNo.1! それに加え山側から周りを見渡すと、豊かで和やかな田園風景が広がり、心にゆったりとしたひとときを与えてくれる。

また、この村の人は「地元愛」にあふれ、次の世代へつなげていくため、挑戦を止めない。

区長の一言

区内には白山神社、天神さん、神明さん、恵比寿さんなど多くの神社が祀られています。神社の奥にある滝は、「口寄せ師」が修行し悟りを開いた場所でもあり、古くから信心深く歴史のある区です。また全国的にも珍しい「毛戸(けど)」の姓も当区発祥のもので。区内の神社を巡り、古くからの歴史をたどりにぜひ一度、お越しください。

いのたに 猪之谷

～人と自然の温かさに包まれて～

香美町小代区猪之谷

小代区の奥にある、小さな集落、猪之谷。絶滅寸前であった但馬牛を残した熱田蔓を育てた前田周助生誕の地として有名である。人口が少なく、静かな空気が流れる村であるが、定期的に行われる交流会（いきいきサロン）で住民の仲を深めている。住民が口をそろえておすすめするのは、豊かな自然と、パーライトという鉱山資源である。また、住民の多くは猪之谷地区以外の出身にも関わらず、この村をとっても大切にしている。

区長の一言

猪之谷集落には、地形・地質的な恵がある。地形的には瀨川山の湧水があり、集落の生活・農耕に十分な水を年間を通じて提供。最上流部は急な山麓を成し、放牧に適し、但馬牛の原点ともいえる周助蔓を育んだ。地質的には含水ガラス質の「パーライト」がほぼ露天に存在し、軽量骨材の原料として採掘されている。

水間・猪之谷つちのこ会による 花嫁行列



まんてん 田田びより

街にないものあります

猪之谷地区では、機械音がほとんどなく、とても静かである。山の水はとても綺麗で、おいしい空気をつくっている。また、野生の動植物が多く生息している。

～こんな人おいで！～

自然に興味がある人、魅力を少しでも感じる人はぜひ！



～いきいきサロン～



人口	15人
世帯数	7世帯
高齢化率	66.6%
主な行事	いきいきサロン
集落データ (R2.10.1)	





さ ぼう 佐坊

香美町小代区佐坊

～八つの尾をもつ幻の滝～

小代の山奥にある集落、佐坊。

ここには八反滝という幻の滝がある。滝の名前の由来は、この滝が八本の支流に分かれることらしい。

しかし、この滝の支流を一度にすべて見ることは不可能である。まるで龍安寺の枯山水のように、どの角度から見ても必ず一本は支流が見られなくなっているのである。いろいろな角度から写真を撮り、八本の支流をその目に納めてほしい。



でんでん 田田びより

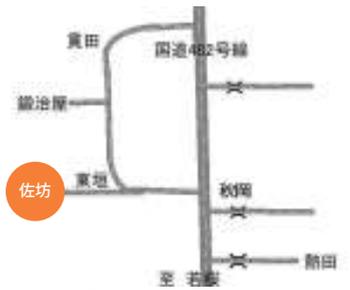
街にないものあります

高地の寒暖差とおいしい湧水が作る、日本一のお米。耕地面積は狭いが、味はどの米にも劣らない。その湧水は、周りの村から汲みに来るほどおいしい水である。田舎ならではの近所付き合いの豊かさ、人のぬくもりを実感してほしい。

～こんな人おいで！～

この村の人はとても仲がいい。時にはみんなで旅行に行くほどだ。この村で暮らせば、人のぬくもり、人の優しさを身近に感じることができる。

田舎暮らしをしてみたい人。人の温かさを感じながら暮らしたい人。こんな村はいかが。



アクセス風景

小代の細い山道を登り、見晴らしのいい丘の上に佐坊はある



人口	50人
世帯数	24世帯
高齢化率	66%
主な行事	盆踊り
歴史	1557年には集落は存在していた

集落データ (R2.10.1)



区長の一言

佐坊地区は標高450～530mにあります。そのため小代区内ではどこよりも早く朝日があたります。また標高差もあって、冬場では上は吹雪、中程では牡丹雪、下では雨と、同じ地区でも気候が違うのも特徴の一つです。佐坊地区には仏ノ尾、青ヶ丸の登山口が有り、雪の季節には扇ノ山の登山口ともなります。仏ノ尾湧水を地区まで引いているため、蛇口からの水が冷たく、観光客はびっくりします。



農林水産省の「日本の棚田百選」に登録されている「うへ山の棚田」がある貫田地区。うへ山の棚田にはリピーターがいるほどの人気の棚田米、秋の時期は稲がたくさん実った棚田の景観がとても美しい。

しかし、地区の高齢化により、田んぼを作るのが難しくなってしまう、景観が一部損なわれてしまった。このままではいけないと思い、立ち上がったのが「武勇田」。

棚田保全を中心に活動していて、今では景観も元通り！地区の手助けには「ホリデー興業」などもある。地区内の仲はとても良く、みんなで気を利かせあっているととてもいい地区だ。ぜひ、足を運んでもらいたい！



人口	116人
世帯数	39世帯
高齢化率	44.8%
主な行事	秋祭り、盆踊り、餅まき
歴史	但馬牛の発祥の牛の田尻号、但馬国七美郡の1つ

集落データ (R2.10.1)

区長の一言

Information Village NUKIDA 貫田は、香美町になる前の小代村・美方町の時代から教育や行政に貢献する人物を輩出し、多くの情報が集まり発信される地である。今では、美方テレビ協会の電波基地、KDDI、NTTドコモ、ソフトバンク、楽天モバイルの無線基地が軒を連ねて立ち寄り、ICT技術の発展に寄与するとともにSNSの成長を促進している。

ぬきだ 貫田

香美町小代区貫田



アクセス風景

大きく育った木々の中を通り、急な坂道をあがると、開けた景色を眺めることのできる貫田集落に着く

～日本が選んだ棚田を守る～



まんまん 田田びより

街にないものあります

貫田には、「武勇田」というグループがある。彼らは、地域の困ったことの手伝いや「うへ山の棚田」の保全活動を行っている。また、日本の黒毛和牛の99.9%が「田尻号」の子孫であるということがわかり、貫田で育った牛が今の和牛を支えていることが明らかになった。

～こんな人おいで！～

日本の黒毛和牛のルーツとなる但馬牛。だが、但馬牛の存在を知らない人たちもいる。そこで、その牛をもっと多くの人に伝えたい、実際に飼育をしてみたい、また、その但馬牛をよりおいしく提供をしたいと考えている方は来てみてはいかがでしょうか。



人口 73人
 世帯数 30世帯
 高齢化率 50.6%
 主な行事 稲荷祭り、秋祭り、
 元旦祭り
 歴史 朝倉太郎太夫高清が
 築いたという城山城
 址がある。
 集落データ (R2.10.1)



てんでん
田田びより

街にないものあります

忠宮には「多他神社」という格式が高く、長い歴史のある神社がある。ここでは、昔から続く歴史のある祭りがあるが、年々衰退してきている。それをまた、盛り上げていこうとする若者がいる。一緒に盛り上げてみないか？

～こんな人おいで！～

祭りが好きな人や、田舎でのんびり暮らしたい人、近所の人との関わりを深めたい人など、田舎暮らしに憧れている人におすすめの場所。ぜひ、忠宮に来てみてはいかがでしょうか？



ただのみや

忠宮

香美町小代区忠宮

この地域にある多他神社では、春の「稲荷祭り」や「秋祭り」、正月に行われる「元旦祭」などがあり、地域の人々の交流の場になっている。

小さな集落だが、その分忠宮を訪れる人々に対する「おもてなしの心」が大きいので、優しくておおらかな人が多い。

～田舎暮らしだ

わっしょいわっしょい!!～

区長の一言

忠宮地区で紹介したい住人をとりあげます。小代初のYouTuberとして有名な西村太一さんです。西村さんは小代の魅力を多くの人に知ってもらうためにYouTubeチャンネル、「ド田舎暮らしオジロちゃんねる」を開設するだけでなく、NPO法人「small is wonderful」を運営するなど積極的に活動しています。皆さんも小代の魅力が詰まった「ド田舎暮らしオジロちゃんねる」是非観てみてくださいね。



地域で育てる未来世代

城山集落は自然が豊かで地域住民の方が見守ってくれるため子どもたちがのびのびと安全に遊べる。また学習塾が2つあり、先生が各塾に1人しかいないという点から、生徒と先生との距離感が近いことで、信頼関係を築ける。人との関わりや人と触れ合うことで感じる温かさを通して、子どもたちは地域社会で生きていく経験を知ることができる。



～みんな集まれ!!老若男女!!～

香美町小代区城山

じょうやま

城山

小代区の集落の一つである、城山。毎年、七夕祭りや秋祭りがあり、若い人と高齢者世代とのつながりが深く、子どもたちを安心して遊ばせることができる地域だ。ぜひ一度足を運び、城山の魅力を感じてみてはどうだろうか。



人口 120人
世帯数 47世帯
高齢化率 44.1%
主な行事 稲荷祭り、盆踊り
歴史 小字中河原に安明神社がある。境内に大師堂と城山七郎右衛門功德碑がある。集落の北西に浄土真宗本願寺派念願寺がある。

集落データ (R2.10.1)



学習塾

区長の一言

小代区の中心部に位置しています城山集落です。古くは城山より1642年に大谷、久須部が独立。村の氏神様は古くから現在の場所に有し村人の心のより所です。地域局、農協、郵便局、診療所、商店街も近く、住みやすく、日当たりのいい住宅環境であります。冬はスキー場、民宿、旅館などで賑わっています。地区内においては高齢化も進み、行事イベントも難しくなりつつありますが、明るく楽しく元よく、大きな声を皆で出し合い取り組んでいます。七夕祭り、地区の小旅行、秋祭り、餅つき、神輿も出して若い方の出番です。11月末にはクリスマスツリーモニュメントを作成、通電し1年の締めとしています。

あき おか 秋岡

香美町小代区秋岡



小代神社灯明杉

～子どもが帰ってくるやさしい町～

秋岡地区は15年ほど前からUターン率が高くなり、今では子どもの数が1番多くとてもにぎやかな地区だ。近所付き合いが良く、とてもフレンドリーで地区のまとまりがあるため住みやすい。郷土料理として「やってみよう会」の皆さんが作っているとちもちがあり、代々ついできた技を途絶えさせないよう活動している。



やってみよう会

区長の一言

秋岡地区は少子化の中、小中学生が多く68軒、人口200人を少し超す位の集落です。20歳～60歳で作る新風会を中心に（結成30年になります）春は稲荷祭、溪谷祭、夏は盆踊り、芸踊りもあり冬はイルミネーションを作り、一年を通して活動しています。特に溪谷祭は矢田川を美化するため、地区全体で取り組んでいます。ぜひ祭りに来てください。



小代神社



地域で育てる未来世代

地区の方々が子どもを見守ってくれるため、安心して子育てが行える。稲荷祭りや盆踊りなどといった大人から子どもまでが交流できる機会が多くあるため、様々な年代の方とふれ合える。自然相手に遊ぶため伸び伸びと遊ぶことができ、元気な子どもが多い。

人口	240人
世帯数	79世帯
高齢化率	40.0%
主な行事	稲荷祭り、盆踊り
歴史	村岡山名氏初代山名豊国の位牌と木像を祀る曹洞宗竜泉寺がある

集落データ (R2.10.1)



ひろい 広井

～古代を生きた
人々の生活体験～

香美町小代区広井

地域で育てる未来世代

広井では多くの古代遺跡が見つかったことから先人の生活を多くの人々に知ってもらうために「古代体験の森」が建てられている。

日本に人々が住み始めて開拓をした時代、「縄文時代」の遺跡を目で見て、土器を作ったり、古代食を食べたり、体全体で体験したりしてみたいはかがだろうか？

メインロードを外れた広井集落には、豊かな田園風景が広がっている。矢田川の右岸沿いの田んぼのある場所では縄文・弥生時代の遺跡が多く存在し、勾玉や土器など多くのものが出土した。

今ではその多くの遺跡は、土の中に眠ってしまっていた。現在は「古代体験の森」として整備し、当時の様子を伝えている。

人口	61人
世帯数	21世帯
高齢化率	44.2%
主な行事	百萬遍、お日待ち、萩祭り
歴史	上ノ山遺跡、広井代遺跡

集落データ (R2.10.1)





の ま た に

野間谷

香美町小代区野間谷

～心も身体も健康な暮らしを。
秘訣は野間谷一家に有り～



人口 48人
世帯数 18世帯
高齢化率 44.4%
主な行事 グラウンドゴルフ大会、
子供会、地区旅行
歴史 光明寺(平野)の前身、
善福寺がかつて野間谷
にあったといわれる

集落データ (R2.10.1)

急峻な坂道の中腹に位置する野間谷集落。その立地と奥まった環境に18世帯が生活している。野間谷の特筆すべきは何といっても住民同士の一体感。地区旅行やいきいきサロンなどの行事ごとは、住民の方が「大人から子どもまで区民全員が参加する」と言っていた。

毎日、坂道を登って、「野間谷」という家に帰る。そんな生活を送ってみたいはいかが？

地域で育てる未来世代

この集落は健康を第一に考えている。正月集会などで区民が集まるときは、野間谷に住んでいる看護師が健康について話をしている。

また、区民全員で行う行事も多い。毎年11月には、グラウンドゴルフ大会を行うなど交流することが多い。区民同士が家族のように接している野間谷集落では、安心した生活がおくれること間違いなし!



区長の一言

野間谷地区は、小さな集落ですが児童生徒は現在6名おり、賑やかな声が聞こえています。その中で唯一誇れる物は我が地区で産出される真珠岩が住宅の外壁原料や土壌改良材として、また、軽量断熱性を生かしLNGの貯蔵タンクの素材として使用されていることです。三井金属鉱業がもう四十数年採掘しています。





ひがし がき

東垣

～笑顔でつなげる
地域の輪～

The community bonded
with smiles

香美町小代区東垣

住民同士の繋がりが深い東垣集落。道路の草刈りひとつとっても協力し合い、年に1回、コミュニティ事業として村の皆で食事をしているなど、仲間意識が強く、皆の仲が良いと住民は語る。この地区の自慢は古い歴史をもつ大日堂だ。ここには牛の神様がまつられており、毎年1月28日に牛飼いが参拝に訪れる。



人口 28人
世帯数 14世帯
高齢化率 57.1%
主な行事 年1回の食事会
牛飼いの参拝
歴史 大日堂があり、古来より、牛の守護仏として尊崇されている。

集落データ (R2.10.1)



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

天空の唐辛子

Chili peppers in the sky

標高500mの地で栽培されている唐辛子。
この唐辛子は「天空の唐辛子」と呼ばれている。

Chili peppers cultivated at an altitude of 500 meters These chili peppers are called "Chili peppers in the sky."

この唐辛子を使って「唐三」という麴づけを作っている工場が小代にある。ここでは栽培から製造を全て地元の人で行い、地元の人が丹精込めて作っている。あなたも東垣に来て一緒に唐辛子を作ってみませんか？

A factory in Ojiro makes "Karazo" pickles molted rice with these chili peppers. Here, local people do everything from cultivation to manufacture with painstaking care. Why don't you visit Higashigaki and make chili peppers together?



区長の一言

当地区大日堂には大日如来が祀られており、未・申年生まれの人や牛馬の守護仏として尊崇され、毎月28日を縁日としている。鎌倉時代、この村は武家集団が統治しており、地区内中心部に武将の墓とされる2基の五輪塔が現存し、また吉滝の奥地には武器用に使われたと思われる鉄の鑄造跡（たたら）がある。今日では標高550mの高原に地区が所有している10ha余の畑や放牧地があり、若き農業者の夢実現を後押ししている。

か じ や 鍛治屋

香美町小代区鍛治屋

～大きな滝を支える小さな集落～
A big waterfall, A small village

兵庫県の指定文化財記念物に定められている吉滝。人口わずか46人の鍛治屋地区にある、全長28メートルのこの吉滝には「裏見滝」という別名がある。その名の通り、表からだけでなく滝を裏から見る事ができるのだ。滝の裏には社があり、厳かな雰囲気漂っている。また、夏場にはマイナスイオンを感じられるパワースポットとして多くの人が訪れる。

吉滝までの道のりの清掃や社の管理は鍛治屋地区の人々が行っており、まさに「小さな集落に支えられる大きな滝」と言って良いだろう。

人口	47人
世帯数	18世帯
高齢化率	46.8%
主な行事	あいさつ運動 盆踊り
歴史	吉滝

集落データ (R2.10.1)



イイ感じを合言葉に
What will you do in Kami?

おせっかいがいいところ

The positives of meddling in others' business.

鍛治屋地区の方々にインタビューをした際、「おせっかいがいいところ」と言う方がいた。おせっかいを焼きあえる関係性、それを「いいところ」と言える人情、どれも都会では味わえない人々の温かさを示しているのではないだろうか。

In interviewing people in Kajiya, a person said "We are curious about others' business, which is a good thing." Since people have built relationships that they care about each other, you can feel the kindness of a cordial relationship. It can be an aspect of warm humanity that you won't fully experience in big cities.



裏から見た吉滝



区長の一言

前を眺めるとハチ北スキー場、秋には紅葉が東から南に一望できます。しかし、大雪となれば雪かき作業に追われる生活です。地区には、あいさつスローガンを三カ所に掲げています。①さきにあいさつ②笑顔であいさつ③すてきなあいさつ。現在は、15世帯と小さな集落だけど、色々なあいさつが、あっちこっちから聞こえます。みんなで協力し明るい地区にしていこうと思っています。



あ つ た

熱田

香美町小代区熱田

～幽寂閑雅の深山に、歌が聞こえる～

A song echoes in deep mountain
that is quiet and elegant.

国道482号線の最奥、鳥取県との県境手前の山中に、熱田という集落がある。時が止まったようにひっそりとたたずむ旧・小南小学校熱田分校跡が、かつてこの地に人々の営みがあったことを、静かに語ってくれる。耳を澄ましてみよう。風の音とともに、山にこだまする小学生の歌が、きっと聞こえてくるに違いない。

歴史 熱田の住民は1969年に野間谷地区に住居を移したため、現在はだれも住んでいない

※2020年5月に自治会活動は休止している



イイ感じを合言葉に

What will you do in Kami?

かつて日本の牛は、品種改良のため外国の大きい牛と交配させて優秀なものにされようとしていたが、それは失敗に終わり、純血の良牛すらも絶滅したかと思われた。しかし実は、地理的条件の厳しい熱田の山奥に「幻の4頭」と呼ばれる純血の牛がいた。牛飼いたちは、その牛たちを手塩にかけて育て上げた。今ではその4頭の子孫である「田尻号」の血が、国内黒毛和牛の99.9%に入っている。熱田の厳しい環境が残した遺産は計り知れない。

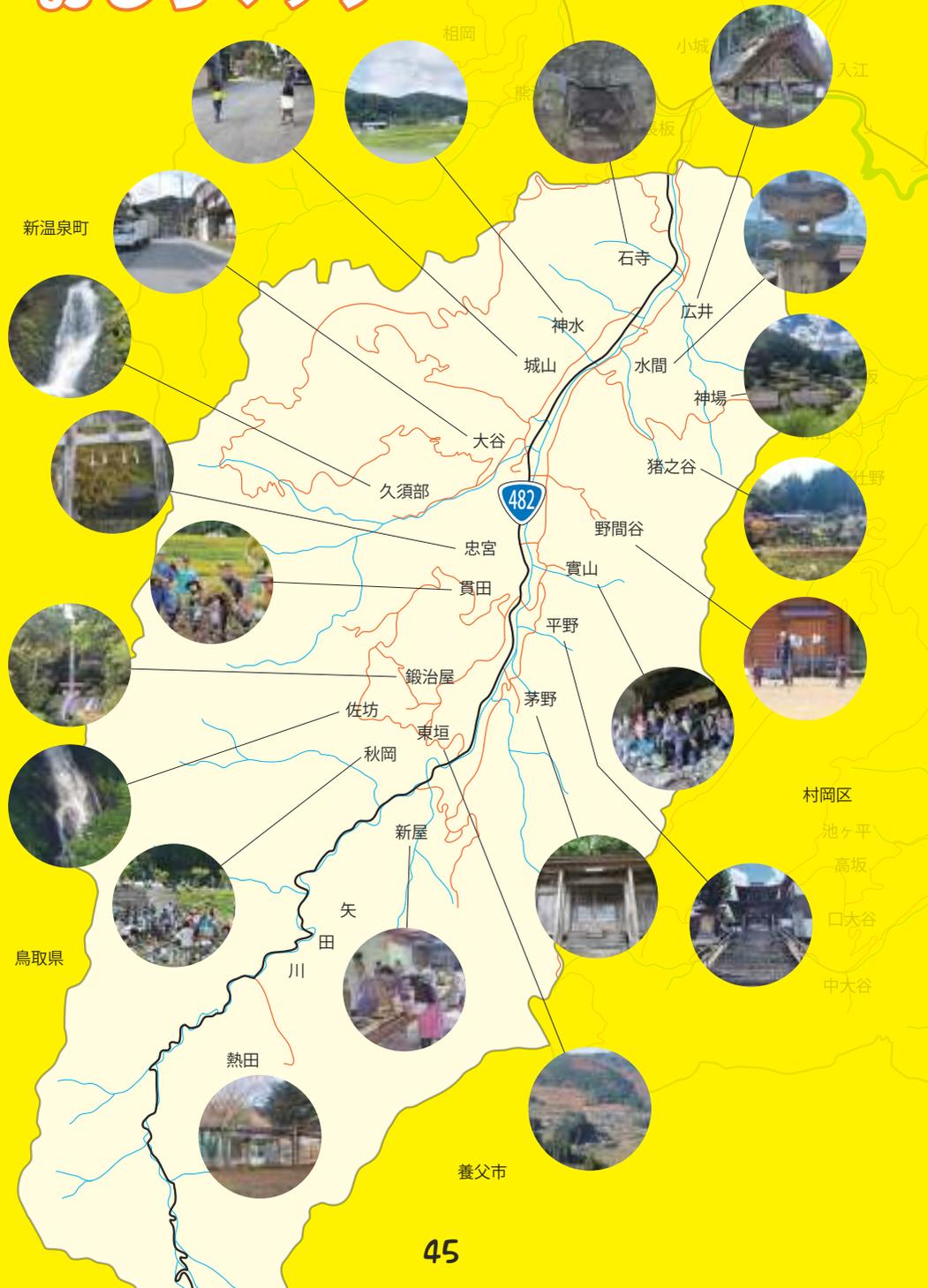
In the origins of breeding Japanese cows, people attempted to cross Japanese cows with large foreign ones to create an excellent breed of cattle. Unfortunately, this crossbreeding failed, and pure-blooded cows seemed to become extinct. In truth, however, there were four pure-blooded cows called "Four Phantoms" living in Atsuta, which is isolated from other civilizations. People in the area raised these cows with great care. Today, 99.9% of Japanese black beef cattle inherit the Tajirogo, a descendant of the Four Phantoms. It is almost impossible to measure how worthy the legacies of Atsuta are.

区長の一言

熱田地区は長い歴史のある集落です。室町時代には金銀銅鉄の採掘所、明治以降は但馬牛のルーツである「あつ」が暮らしていた集落として有名でした。

2020年3月31日に自治会活動は休止しており、行政区は熱田から新屋に変更されています。その当時の生活を知れる名残として、旧小南小学校の熱田分校跡地や熱田神社等があります。

おじろマップ



おわりに

地域の魅力とは

兵庫県立村岡高等学校長
牧野 徹



国土交通白書(平成21年)に、「地域の魅力とは何か」という国土交通省の調査があります。その中で、現在住んでいる地域に対して、4人に3人が愛着を感じていて、この傾向は、三大都市圏と地方圏で変わらないそうです。

現在住んでいる地域の魅力を尋ねると、三大都市圏では、交通が便利、買い物など日常生活が便利等「利便性」に関する要素が強い一方で、地方圏は、自然環境の豊かさ、気候や風土のよさ、治安や風紀のよさ、住民のつながり、文化・歴史等、その地域が持つ「地域らしさ」に関する要素が強いそうです。

村高発地域元気化プロジェクト集落調査班が現地の集落調査を基にまとめたこのガイドブックには、まさに、わたしたちの地域が持つ「地域らしさ」が溢れています。今回の活動が地域の魅力の発信、そして活性化へと繋がることを願っています。

編集後記

兵庫県立村岡高等学校 村高発地域元気化プロジェクト 集落調査班

はじめに、香美町集落ガイドブック「むらの風景vol.4」を作成するにあたって小代地区の方々をはじめ、出版に携わってくださった方々に心より感謝申し上げます。

このガイドブックは、高校生ならではの視点で集落の魅力を見直し、発信することで小規模集落に活力を与えるという目的で作成しました。集落調査の活動を通して、地域の魅力を知ることは、私たちの地元に対する自信や誇りへと繋がりました。

それぞれの集落によってターゲットを分けてガイドブックを作成したので、読む人には自分に合った集落を見つけてもらい興味を持っていただければ嬉しいです。このガイドブックがきっかけで、小代地区に訪れる人が増え、移住者の増加につながることを願っています。



鳥取大学地域学部地域創造コース
教授 筒井一伸



コロナ禍終息の見通しがたたない中でスタートをした2021年度。しかし少しずつコロナウィルスとのお付き合いの仕方も身に付き始め、2020年度に断念をした『むらの風景』の小代地区エディションの作成を行うことができました。昨年度の成果である小代地区のカッコイイ大人、その人たちが楽しんでいる小代地区21集落の“いい感じ”が、4冊目の『むらの風景』として収められています。年度の前半は教育コーディネーターが不在の中でしたが、さすが村高。山本彰一先生と足立祐輔先生の指導で見事に、小さな地域の“いい感じ”があぶりだされています。ご一緒させていただき、お二人の先生の掛け合い漫才!?!にも勝るとも劣らないやりとりもさることながら、「知識を教える」ではなく「生徒と対話する」スタンスには本当に感銘を受けました。

小代地区は、おそらく兵庫県全体の中だと、俗にいう“限界集落”、“末端集落”に見えるかもしれませんが、しかしそうとは呼ばせない魅力をもつ地域と人々の底力、そしてそれをあぶりだす村高の生徒と先生たち。集落の次のステップへ、携わったみなさんがこのガイドブックを活かしてくれるものと期待をしております